

第 V 章

日本医学会の活動

2022 年度日本医学会の活動

門田 守人*

Monden Morito

* 日本医学会会長

1. 日本医学会総会

1) 「第31回日本医学会総会 2023 東京」の準備

第31回日本医学会総会はメインテーマを「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」とし、2023年4月21日～23日の開催にむけて準備を進めている。新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるが、組織委員会の下、webと現地参加のハイブリットでの開催を予定している。各委員会の開催状況は、組織委員会、学術委員会、総務委員会、登録委員会、展示委員会、広報委員会、ダイバーシティ推進委員会が各3回、式典委員会、財務委員会、記録委員会、ソーシャルイベント委員会が各2回である。

◎お問い合わせ先

第31回日本医学会総会 事務局 事務局長 小嶋照郎 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院中央診療棟2（8F）

Phone：03-5800-8971 Fax：03-5800-6412 Email：office@isoukai2023.jp

2. 日本医学会幹事会

第6回日本医学会幹事会を、2023年2月22日（水）にweb開催した。主な議題は、「2022年度日本医学会年次報告」、「2023年度日本医学会事業計画」、「日本医学会新規加盟学会」等である。

3. 日本医学会臨時幹事会

日本医学会臨時幹事会を2022年6月29日（水）にweb開催した。主な議題は「第31回日本医学会総会準備状況」、「第32回日本医学会総会（2027年開催）」である。

4. 日本医学会定例評議員会

第90回日本医学会定例評議員会を、2023年2月22日（水）にweb開催した。主な議題は、「2022年度日本医学会年次報告」、「2023年度日本医学会事業計画」、「日本医学会新規加盟学会」等である。

5. 日本医学会臨時評議員会

日本医学会臨時評議員会を2022年6月29日（水）にweb開催した。主な議題は「第31回日本医学会総会準備状況」、「第32回日本医学会総会（2027年開催）」である。

6. 日本医学会シンポジウム

1) 日本医学会シンポジウム

新型コロナウイルス感染症の拡大傾向を受けて、無観客にて講演収録の形態により、2022年度は2回開催された。

2) 日本医学会シンポジウム企画委員会

標記委員会は8名で構成されており、シンポジウムの基本方針、テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。2022年度は2回開催した。

3) 日本医学会シンポジウム記録

「第160回日本医学会シンポジウム」、「第161回日本医学会シンポジウム」の全容を日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」の項で映像配信した（<https://jams.med.or.jp/>）。

4) 日本医学会シンポジウムの講演要旨

講演要旨は、日本医師会雑誌に掲載した。

7. 日本医学会公開フォーラム

1) 日本医学会公開フォーラム

新型コロナウイルス感染症の拡大傾向を受けてシンポジウムと同様、無観客にて講演の収録のみを行った。本年度は2回開催した。

2) 日本医学会公開フォーラム企画委員会

日本医学会公開フォーラム企画委員会は7名の委員により構成。日本医学会公開フォーラムの基本方針、テーマおよび組織委員について、企画構成を行う。今年度は、2回開催した。

3) 日本医学会公開フォーラム記録

「第31回日本医学会公開フォーラム」、「第32回日本医学会公開フォーラム」の全容を日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」で映像配信した（<http://jams.med.or.jp/>）。

8. 日本医学会協議会

毎月1回、会長・副会長、日本医師会担当副会長・常任理事で定期的に開催されている。

9. 日本医学会医学用語管理委員会

日本医学会医学用語管理委員会は、日本医学会の委員会の中で最も歴史が古い委員会である。委員長：大江和彦、副委員長：南学正臣他11名の委員と協力会社2社により構成されている。2022年度は2回開催した。日本医学会医学用語辞典の改訂を進めるにあたり、分科会にアンケート調査を行った。

10. 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

遺伝学に関する用語は、医学、教育、社会において広い分野で関係することから、日本医学会としては十分な検討の上、プロセスを踏んでコンセンサスを形成することが重要と考え、医学用語管理委員会の下にワーキンググループ（WG）を設けて検討を行ってきた。委員は座長の辻 省次他7名で構成。

2022年度は1回開催した。

11. 不適切語を含む医学用語の検討ワーキンググループ

本ワーキンググループは患者や家族にとって辛い響きである「奇形」という用語を別の言葉に変えることを検討するため、2019年10月に医学用語管理委員会の下に発足した「「奇形」を含む医学用語の置き換えに関するワーキンググループ」であったが、「奇形」のみならず、医学用語辞典に含まれる様々な不適切語を検討するため、2022年9月より名称を変更し、新たな委員も2名加わった。委員は座長：森内浩幸他13名で構成。

2022年度は2022年12月22日（木）に開催された。

12. 用語表記基本指針策定ワーキンググループ

2021年度に創設されたワーキンググループで、医学用語における用語の表記方法の基本方針を策定することを目的としている。委員は座長：久具宏司他6名で構成。2022年度は1回開催された。

13. 日本医学会分科会用語委員会

2022年度日本医学会分科会用語委員会は2023年1月26日（木）にweb開催された。

14. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

医学賞・医学研究奨励賞の選考作業は、日本医学会が日本医師会より委任されているもので、本年度は2022年8月26日（金）に開催された。委員に加え、本年度は、特例委員として8名が加わった。

結果は、医学賞3名、医学研究奨励賞14名が選考され、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において表彰された。なお、医学賞受賞者の論文を日本医師会雑誌（第151巻第10号）に掲載した。

15. 日本医学会加盟検討委員会

日本医学会加盟検討委員会は、13名の委員により構成。

2022年度第1回日本医学会加盟検討委員会を2022年12月8日（木）に開催した。今年度の加盟申請の21学会についての審査を慎重に行い、その結果を日本医学会協議会に提出した。

16. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

平成23年度に発足した委員会で、日本医学会として遺伝情報の取り扱い、検査の質保証、提供体制などに取り組むことを目的としている。担当副会長：門脇 孝、委員は委員長：福嶋義光他9名で構成。2022年度は2回開催した。

17. 日本医学会利益相反委員会

平成22年度に発足した「日本医学会臨床部会利益相反委員会」を、平成24年度に「日本医学会利益相反委員会」に改称した。担当副会長：門脇 孝、委員は委員長：曾根三郎他10名で構成。2022年度は4回開催した。

18. 日本医学会分科会利益相反会議

第8回日本医学会分科会利益相反会議については、2022年度は開催されなかった。

19. 日本医学会産学連携健全化ワーキンググループ

2022年1月に新たに発足した。委員は、担当副会長：門脇 孝、座長：曾根三郎他5名で構成。

2022年4月5日に「企業主催講演会における学術講演内容介入状況のアンケート調査」を141日本医学会分科会の理事を対象に実施し、報告書をまとめた。

2022年度は1回開催した。

20. 日本医学雑誌編集者組織委員会

日本医学雑誌編集者組織委員会は、平成20年に発足した。担当副会長：磯 博康。委員は、委員長：北村 聖他10名で構成。

2022年度は1回開催した。

21. 日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・シンポジウム

第11回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第11回シンポジウムは、新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、2023年1月13日（金）に無観客収録した。詳細については、日本医学会ホームページにて掲載。

22. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で、研究倫理のあり方、研究不正問題の予防と発生時の対応について情報を共有し、各分科会会員の教育啓発に活かすことを目的として、毎年開催していたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、2020年度、2021年度に引き続き、2022年度も中止となった。2023年度の開催に向けて、4委員会で作成した。

23. 日本医学会子宮移植倫理に関する検討委員会

日本医学会子宮移植倫理に関する検討委員会は、日本産科婦人科学会と日本移植学会からの要望を受けて、倫理的な課題や社会的な影響、医学的な安全性を日本医学会として検討するために、2019年4月に発足した。委員構成は、委員長：飯野正光他13名で構成。

2022年度は1回開催した。

24. 日本医学会総会あり方委員会

日本医学会総会のあり方について、中・長期的な展望で検討する委員会で、委員は委員長：飯野正光他、14名で構成。

2022年度は2回開催した。

25. 再生医療等レジストリ協議会

再生医療等製品の市販後調査・治験等における患者登録システムの効率的な運用を目的として発足した。日本医学会分科会、PMDA、日本再生医療学会と連携をとりながら進めている。

26. 日本医学会創立120周年記念事業

日本医学会は明治35年（1902）4月2日～5日に16分科会が集合し、第1回日本聯合医学会を上野の東京音楽学校で開催しており、これを本会の公式な設立日としている。記念事業として、記念誌の作成、式典・シンポジウムの開催、未来への提言の作成を行った。2022年4月2日に『創立120周年記念事業～日本近代医学創成から120年とこれからの120年～』として、記念式典・シンポジウムが開催された。また、『日本医学会創立120周年記念誌』を刊行し、関係機関・各位宛に送付した。3つの記念事業のうち『未来への提言』作成については、分科会からの協力をいただき、取り纏めが行われた。

1) 記念式典委員会

委員は森 正樹委員長他8名で構成。

2) 記念誌委員会

委員は磯 博康担当副会長、坂井建雄委員長他12名で構成。

同委員会の下で、全516ページから成る日本医学会創立120周年記念誌を2022年4月2日（土）に発刊し、冊子体を関係各方面に発送すると共に、4月5日（火）にPDF（完全版）を日本医学会ホームページ特設サイトで公開した。

3) 「未来への提言」作成委員会

委員は、飯野正光委員長他、28名で構成。

4月2日開催のシンポジウム「未来への提言」では、それぞれのワーキンググループが取りまとめた内容についてグループリーダーが講演を行い、その後、今回の取りまとめについて、141分科会に対して「未来への提言」に対する意見募集を実施した。

分科会からの意見も含めた取りまとめを行い、2023年3月に「未来への提言」が完成し冊子体を関係各方面に発送すると共に、2023年3月29日にPDF（最終版）を日本医学会ホームページ特設サイトで公開した。

4) 創立 120 周年記念事業ワーキンググループ

周年事業全体の進捗状況を管理するワーキンググループで 2021 年に発足した。

委員は、委員長：丸橋 繁他 4 名で構成。

27. 移植関係学会合同委員会

平成 4 年 4 月に発足した移植関係学会合同委員会は厚生労働省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。2022 年度は 4 回開催した。

28. 出生前検査認証制度等運営委員会

NIPT を実施する非認定施設の増加により、適切なカウンセリングが行わないまま妊婦が NIPT を受検するケースが増えたことが問題視され、厚生労働省より本会に標記委員会の設置を依頼された。2021 年 6 月の臨時評議員会にて承認されている。

2022 年度は 4 回開催した。

29. 日本医学会 e-News

5 月に No. 5 を、10 月に No. 6 を発行した。今後も不定期に発行する予定。

30. 情報発信

日本医学会分科会の協力を得て、本会のホームページ(<https://jams.med.or.jp/>)と分科会ホームページをリンクしている。2021 年 4 月 1 日にリニューアルし、スマートフォンに対応できる形にしている。

31. その他

- 1) 「日本医学会分科会一覧」を 2022 年 8 月に作成、関係各方面に配付した。
- 2) 「2023 年日本医学会分科会総会一覧」(オンライン版)を 2022 年 12 月に作成した。